

これからの大学図書館のための 戦略的プランニング

Strategic Planning for the University Libraries of the Future

オープンアクセス、オープンサイエンスの時代に、大学図書館の新しい機能をどう実現するか

How we realize New Functions of the University Libraries in the Era of Open Access and Open Science

挨拶・趣旨説明

竹内比呂也 (千葉大学副学長 (教育改革、学修支援)、附属図書館長)

Case from Singapore

NG Tao Tao, Magdeline 氏 (Vice University Librarian, National University of Singapore)

Case from Australia

Justine Cawley 氏 (Senior Manager, Library Research Services,
The University of Queensland)

Case from Japan

高橋菜奈子氏 (新潟大学 学術情報部長)

パネル・ディスカッション



2025
1.20 月
13:15 ~ 17:00

申込方法

1.15 水 までに下記URLからお申込みください。
二次元バーコードからもアクセスできます。
https://alc.chiba-u.jp/news/20241202_oa.html



開催形式 Zoomによるウェビナー (通訳あり)

今日の大学図書館は、大学を取り巻く環境の変化、また学術情報流通システムの急激な変化の影響を受け、機能面での大きな刷新が求められている。日本では、2025年度から新たに公募を行う競争的研究費制度による学術論文および研究データの即時オープンアクセスが義務化されることが決まったが、そのような変化に対応し、大学図書館が教育研究の文脈でこれまで果たしてきた本質的な役割を継続的に果たしていくためには、図書館と学内外に存在するステークホルダーとの関係を調整して、大学図書館自身が自らが何をすべきかを明確にし、着実に実行に移していく必要がある。

この国際シンポジウムでは、アジア太平洋地域の大学図書館からスピーカーをお招きし、上記の課題について、先進的な大学図書館が具体的にまた戦略的にどのように対応してきたかをご報告いただくとともに、日本の事例についても報告し、共通の課題、固有の課題を明らかにしていきながら、オープンサイエンスの時代の大学図書館に求められる新機能とその実現に向けた戦略的プランニングについて、会場も含めてディスカッションしていきたい。



CHIBA UNIVERSITY

Academic Link

主催・お問い合わせ：千葉大学アカデミック・リンク・センター／附属図書館 alc-info@chiba-u.jp

本シンポジウムは、2024年度文部科学省補助金「オープンアクセス加速化事業」により実施します。